

**製品名: DFFA マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82305**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	36.5kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DFFA
別名	DFF1; ICAD; DFF-45
遺伝子 ID	1676.0
SwissProt ID	O00273
免疫原	大腸菌で発現したヒト DFFA (AA: 179-331) の精製組み換え断片。

**背景**

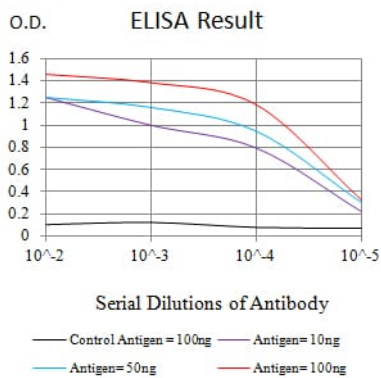
アポトーシスは、哺乳類の発生過程において、毒性のある細胞や不要な細胞を除去する細胞死のプロセスです。アポトーシスのプロセスは、細胞と核の収縮と断片化、そして染色体 DNA のヌクレオソーム単位への分解を伴います。DNA 断片化因子 (DFF) は、40

kD (DFFB) サブユニットと 45 kD (DFFA) サブユニットからなるヘテロ二量体タンパク質です。DFFA はカスパーゼ 3 の基質であり、アポトーシスにおける DNA 断片化を引き起こします。DFFA がカスパーゼ 3 によって切断されると、DFF が活性化されます。切断された DFFA 断片は、DFF の活性成分である DFFB から解離します。DFFB は、アポトーシスにおける DNA 断片化とクロマチン凝縮の両方を引き起こすことが分かっています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。

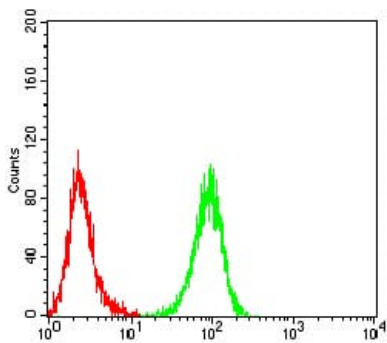
## 研究分野

アポトーシス

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



DFFA マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。